

■表3 各教科の評価の観点及びその趣旨

1. 各学科に共通する各教科・科目の学習の記録

教科	観 点	趣 旨
国語	関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
	話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
	書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
	読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
	知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
地理歴史	関心・意欲・態度	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。
	思考・判断・表現	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用の技能	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
	知識・理解	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
公民	関心・意欲・態度	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。
	思考・判断・表現	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用の技能	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
	知識・理解	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
数学	関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
	数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
	数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
	知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
理科	関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
	観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
	知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

教科	観 点	趣 旨	
保健体育	関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	
	思考・判断	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	
	運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	
	知識・理解	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	
芸術	音楽	音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
		音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
		音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。
		鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
	美術	美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
		発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
		創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。
		鑑賞の能力	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
	工芸	工芸への関心・意欲・態度	工芸の創造活動の喜びを味わい、工芸や工芸の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
		発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え制作の構想を練っている。
		創造的な技能	創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。
		鑑賞の能力	工芸や工芸の伝統と文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
	書道	書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
		書表現の構想と工夫	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
		創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。
		鑑賞の能力	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

教科	観 点	趣 旨
外国語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
	外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
	外国語理解の能力	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
	言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
家庭	関心・意欲・態度	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
	思考・判断・表現	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。
	技能	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。
	知識・理解	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
情報	関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。
	思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。
	技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。
	知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

2. 主として専門学科において開設される各教科・科目の学習の記録

教科	観 点	趣 旨
工業	関心・意欲・態度	工業技術に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
	思考・判断・表現	工業技術に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
	技能	工業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	知識・理解	工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
商業	関心・意欲・態度	ビジネスの諸活動に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
	思考・判断・表現	ビジネスの諸活動に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
	技能	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	知識・理解	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの意義や役割を理解している。

教科	観 点	趣 旨
家庭	関心・意欲・態度	生活産業を取り巻く諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
	思考・判断・表現	生活産業を取り巻く諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、生活産業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
	技能	生活産業に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、生活産業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	知識・理解	生活産業に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活産業の社会的な意義や役割を理解している。
福祉	関心・意欲・態度	社会福祉に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
	思考・判断・表現	社会福祉に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
	技能	社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、福祉に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	知識・理解	社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。
理数	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心を持ち、積極的にそれらを探究しようとするとともに、事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。
	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見いだし探究する過程を通して、事象を科学的・創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。また、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的・創造的に考察し的確に表現している。
	技能	観察、実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
	知識・理解	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を身に付けている。
体育	関心・意欲・態度	スポーツ文化を尊重し、主体的、合理的、計画的に、各科目の学習に取り組もうとする。
	思考・判断	生涯を通してスポーツの振興発展に寄与することを目指して、各科目の課題に応じた運動や学習の取り組み方、健やかな心身の高め方や維持の仕方を工夫している。
	運動の技能	高度な技能の習得を目指して、各科目の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
	知識・理解	スポーツの専門的な実践に関する具体的な事項及びスポーツの振興発展に寄与するための理論について理解している。
美術	美術への関心・意欲・態度	美術文化を尊重し、主体的、創造的に美術の学習に取り組もうとする。
	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的・機能的で個性豊かな表現の構想を練っている。
	創造的な技能	創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表現している。
	鑑賞の能力	美術作品や文化遺産、美術文化などについて理解を深め、感性や想像力を働かせて価値や美意識を感じ取り、創造的に味わっている。
英語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
	英語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
	英語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
	言語や文化についての知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。

教科	観 点	趣 旨
国 語	関心・意欲・態度	国語を適切に表現し的確に理解する能力及び伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
	話す・聞く能力	目的や場に応じた的確に聞き取り、効果的に話したり、意見交換をしたりして、自分の考えをまとめ、深めている。
	書く能力	相手や目的に応じて題材を選び、適切な論理構成と表現で自分の考えを文章にまとめ、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。
	読む能力	様々な文章を幅広く読み、その構造や表現に留意して、内容を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。
	知識・理解	伝統的な言語文化及び言語の特徴やきまり、漢字などについて興味・関心をもって理解し、知識を身に付けている。
演 劇	演劇への関心・意欲・態度	演劇文化を尊重し、主体的、創造的に演劇の学習に取り組もうとする。
	演劇的な発想や構想の能力	自らの発想に基づいて、創造的・機能的で個性豊かな表現の構想を練っている。
	創造的な演劇表現の技能	演劇的な表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表している。
	鑑賞の能力	演劇をはじめとする様々な舞台芸術について理解を深め、感性や想像力を働かせて主題を深く読み取り、創造的に味わっている。

(様式1)

大阪市教育委員会 様

平成 年 月 日

大阪市立 高等学校
校長名 印

平成 年度「学校設定科目」設置届

標題について、次のとおりお届けします。

記

教科名		科目名		単位数	
使用教科書		出版社		教科書の 記号・番号	
(目標)					
内 容					

※指導計画を添付すること

(様式2)

大阪市教育委員会 様

平成 年 月 日

大阪市立 高等学校
校長名 印

平成 年度「学校設定教科及び当該教科に関する科目」設置届

標題について、次のとおりお届けします。

記

1 教科名

2 目標

3 当該教科に関する科目及び単位数

※ 当該教科に関する科目のうち、「学校設定科目」については、様式1による。

(様式3)

大阪市教育委員会 様

平成 年 月 日

大阪市立 高等学校
校長名 印

平成 年度「総合的な学習の時間」の実施計画書

標題について、次のとおりお届けします。

記

- 1 名称
- 2 実施学科及び学年
- 3 年間の総単位時間及び単位数
- 4 目標
- 5 育てようとする資質や能力及び態度
- 6 内容
 - ・学習内容
 - ・指導方法
 - ・指導体制
 - ・学習の評価
- 7 備考

※具体的な指導計画を添付すること

注1) 単位数は、年間の総単位時間を35で除し、小数点以下を切り捨てた数とする。

注2) 「総合的な学習の時間」の学習活動をもって「課題研究」の履修に替える場合には、その旨を備考欄に明記すること。

(様式4)

大阪市教育委員会 様

平成 年 月 日

大阪市立 高等学校
校長名 印

平成 年度 道德教育の全体計画書

標題について、次のとおりお届けします。

記

- 1 道德教育の重点目標

- 2 各教科、総合的な学習の時間及び特別活動などとの関連

- 3 生活指導等における関連

- 4 校内推進体制

- 5 家庭、地域、関係諸機関、異校種等との連携

- 6 備考

※具体的な指導計画を添付すること

第3章 大阪市教育局が定める学科等について

第1 普通教育を主とする学科に関する事項

- 1 生徒の興味・関心、進路等に応じた多様な教科・科目を設けるなど特色ある教育課程を編成すること。
- 2 普通科において職業科目を履修させる場合は、職業学科の専門教育と異なり、自己の進路や職業について理解を深め、将来の進路を主体的に選択決定できる能力の育成に主眼を置くものとする。

第2 専門教育を主とする学科に関する事項

- 1 専門学科においては、専門教科・科目（専門教育に関わる学校設定科目を含む。）について、すべての生徒に履修させる単位数は、25単位を下らないこと。ただし、各学科の目標を達成するうえで、専門教科・科目以外の各教科・科目の履修により専門教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その専門教科・科目以外の各教科・科目の単位を5単位まで上記の単位数に含めることができる。
- 2 国語科、演劇科について
 - (1) 国語科、演劇科においては、専門教育に関する教科として学校設定教科「国語」、「演劇」をそれぞれ設けるものとする。
 - (2) 国語科においては、次に掲げる内容の専門教育に関する科目を設けるものとする。
 - ア 「聞く、話す、読む、書く」の総合的な国語力の育成に関すること。
 - イ 日本語の感覚と表現力に関すること。
 - ウ プレゼンテーション能力に関すること。
 - エ スピーチや説明をする等の言語活動に関すること。
 - オ 伝統と文化に対する理解を深め、古典に親しむ態度の育成に関すること。
 - (3) 演劇科においては、次に掲げる内容の専門教育に関する科目を設けるものとする。
 - ア 演劇に関する基本的な知識に関すること。
 - イ 演劇における表現方法に関すること。
 - ウ 舞台操作、音響操作、照明操作等、舞台技術に関すること。
 - エ 伝統芸能（狂言）、舞踊（モダンダンス、クラシックバレエ）等、エンターテイメントに関すること。
 - オ 芸能鑑賞に関すること。

3 教科「情報」の代替について

- (1) 工業を主とする学科においては「情報技術基礎」の履修をもって、商業を主とする学科においては「情報処理」の履修をもって、家庭を主とする学科においては「生活産業情報」の履修をもって、福祉を主とする学科においては「福祉情報活用」の履修をもって、普通教育に関する教科「情報」の履修の一部または全部に替えることができる。

- (2) 教育委員会への申請（表2の提出様式欄が「なし」以外の時）
様式5により教育委員会に申請すること。

ア 提出先：高等学校教育担当
イ 提出部数：2部（A4判）
ウ 提出時期：教育課程申請時

4 総合的な学習の時間の代替について

- (1) 職業教育を主とする専門学科においては、総合的な学習の時間の履修により、工業、商業若しくは家庭の各教科に属する「課題研究」又は「介護総合演習」（以下この項において「課題研究等」という。）の履修と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間の履修をもって課題研究等の履修の一部又は全部に替えることができる。また、課題研究等の履修により、総合的な学習の時間の履修と同様の成果が期待できる場合においては、課題研究等の履修をもって総合的な学習の時間の履修の一部又は全部に替えることができる。ただし、相互の代替が可能とされるのは、同様の成果が期待できる場合に限る。

- (2) 教育委員会への申請（表2の提出様式欄が「なし」以外の時）
様式6により教育委員会に申請すること。

ア 提出先：高等学校教育担当
イ 提出部数：2部（A4判）
ウ 提出時期：教育課程申請時

5 専門教科・科目の履修による各学科に共通する必履修教科・科目の代替について

- (1) 専門教科・科目の履修によって、各学科に共通する必履修教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その専門教科・科目の履修をもって、必履修教科・科目の履修の一部又は全部に替えることができる。

- (2) 教育委員会への申請（表2の提出様式欄が「なし」以外の時）
様式7により教育委員会に申請すること。

ア 提出先：高等学校教育担当
イ 提出部数：2部（A4判）
ウ 提出時期：教育課程申請時

第3 総合学科に関する事項

- 1 学校設定科目「産業社会と人間」については、学校設定教科「総合」に関する科目として設け、すべての生徒に原則として入学年次に履修させるものとし、標準単位数は2～4単位とすること。
- 2 総合学科においては、学年による教育課程の区分を設けない課程（以下「単位制による課程」という。）とすることを原則とする。
- 3 「産業社会と人間」及び専門教育に関する各教科・科目を合わせて25単位以上設けるものとする。

- 4 総合学科においては、生徒が進路の方向に沿った科目の選択ができるよう、体系性や専門性等において相互に関連する教科・科目で構成される科目群（「系列」という。）を複数設けるものとする。

第4 単位制による課程に関する事項

- 1 単位制による課程においては、学年による教育課程の区分を設けないものとする。
- 2 生徒の特性、進路等に応じた多様な自由選択科目を設けるものとする。
- 3 生徒が個性、能力に応じて自ら学習計画を立てることができるよう、弾力的な教育課程を編成すること。

(様式5)

大阪市教育委員会 様

文 書 番 号
平成 年 月 日

大阪市立 高等学校
校長名 印

「情報」の代替履修について（申請）

標題について、平成 年度の教育課程について、高等学校学習指導要領第1章第3款の規定により、次のとおり「情報」の履修に替えますので、申請いたします。

記

学科	
学年	
代替される 教科・科目名	
代替単位数	単位
代替する 教科・科目名	
代替する 教科・科目の 単位数	単位
備考	

(様式6)

大阪市教育委員会 様

文 書 番 号
平成 年 月 日

大阪市立 高等学校
校長名 印

「総合的な学習の時間」の代替履修について (申請)

標題について、平成 年度の教育課程について、高等学校学習指導要領第1章第3款の規定により、次のとおり「総合的な学習の時間」の履修に替えますので、申請いたします。

記

学科	
学年	
代替される 教科・科目名	総合的な学習の時間
代替単位数	単位
代替する 教科・科目名	
代替する 教科・科目の 単位数	単位
備考	

(様式7)

大阪市教育委員会 様

文 書 番 号
平成 年 月 日

大阪市立 高等学校
校長名 印

必履修教科・科目の代替履修について (申請)

標題について、平成 年度の教育課程について、高等学校学習指導要領第1章第3款の規定により、次のとおり必履修教科・科目の履修に替えますので、申請いたします。

記

学科		
学年		
	代替専門教科・科目	必履修教科・科目
教科・科目名		
標準単位数	単位	単位
実施単位数	単位	単位
代替単位数	単位	
代替する理由		
備考		

第4章 専門教育を主とする学科の目標

第1 工業に関する学科

- 1 工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における工業の意義や役割を理解させるとともに、環境及びエネルギーに配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。
- 2 工業に関する各学科においては、原則として工業に関する科目に相当する総授業時数の10分の5以上を実験・実習に相当すること。
- 3 地域や産業界との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなどの工夫に努めること。

第2 商業に関する学科

- 1 商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てること。
- 2 ビジネスの場面を想定した指導の中で、知識と技術を活用する上で必要となる思考力、判断力、表現力等を育成すること。
- 3 グループで調査や研究などの活動を行う機会、ビジネスの諸活動の望ましい在り方について討論や考察を行う機会、地域や産業界と連携して共同して課題解決に取り組む機会を設けるなどの工夫を図り、経済社会の望ましい構成者としての意識を高めさせること。

第3 家庭に関する学科

- 1 家庭の生活にかかわる産業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生活産業の社会的な意義や役割を理解させるとともに、生活産業を取り巻く諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、生活の質の向上と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てること。
- 2 原則として家庭に関する科目に相当する総授業時数の10分の5以上を実験・実習に相当すること。また、実験・実習に当たっては、ホームプロジェクトを取り入れることもできる。

第4 福祉に関する学科

- 1 社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的、体験的に習得させ、社会福祉の理念と意義を理解させるとともに、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てること。

- 2 福祉に関する各学科においては、原則として福祉に関する科目に担当する総授業時数の10分の5以上を実験・実習に担当すること。
- 3 社会福祉施設の見学、実験・実習、調査研究、日常的な実践活動などの実際の・体験的な学習を通して、活用できる知識と技術を総合的に身に付けさせること。

第5 理数に関する学科

- 1 事象を探究する過程を通して、科学及び数学における基本的な概念、原理・法則などについての系統的な理解を深め、科学的、数学的に考察し表現する能力と態度を育て、創造的な能力を高めること。
- 2 各科目の指導に当たっては、大学や研究機関、博物館などと積極的に連携、協力を図るようすること。数理現象の理解や多数の計算例による法則性の認識及び観察、実験の過程での情報の収集・検索、計測・制御、シミュレーション、結果の集計・処理などのために、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的かつ適切に活用すること。
- 3 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度の育成を図ること。また、環境問題や科学技術の進歩と人間生活にかかわる内容等については、持続可能な社会をつくることの重要性も踏まえながら、科学的な見地から取り扱うこと。

第6 体育に関する学科

- 1 心と体を一体としてとらえ、スポーツについての専門的な理解及び高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの振興発展に寄与する資質や能力を育て、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てること。
- 2 各科目の指導に当たっては、公正、協力、責任、参画に対する意欲及び思考力、判断力などを育成するとともに、生徒の健康・安全を確保し、事故防止を図ること。

第7 美術に関する学科

- 1 美術に関する専門的な学習を通して、美的体験を豊かにし、感性を磨き、創造的な表現と鑑賞の能力を高めるとともに、美術文化の発展と創造に寄与する態度を育てること。
- 2 各科目の特質を踏まえ、学校の実態に応じて学校図書館を活用するとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどを指導に生かすこと。地域や学校の実態に応じて、地域の文化財、文化施設、社会教育施設等の活用を図ったり、地域の人材の協力を求めたりすること。
- 3 美術に関する知的財産権や肖像権などについて配慮し、自己や他者の著作物等を尊重する態度の形成を図るようすること。

第8 英語に関する学科

- 1 英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養うこと。
- 2 各科目の指導に当たっては、指導方法や指導体制を工夫し、ペア・ワーク、グループ・ワークなどを適宜取り入れたり、視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワークなどを適宜指導に生かしたりすること。また、ネイティブ・スピーカーなどの協力を得て行うティーム・ティーチングなどの授業を積極的に取り入れ、生徒のコミュニケーション能力を育成するとともに、国際理解を深めるようにすること。

第9 国語に関する学科

- 1 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てること。
- 2 人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、言語を通して適切に表現したり的確に理解したりして、円滑に相互伝達、相互理解を進めていく能力を育成すること。

第10 演劇に関する学科

- 1 演劇についての幅広い活動を通して、生涯にわたり演劇を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、演劇に関する諸能力を伸ばし、演劇についての理解を深め、豊かな情操を養うこと。
- 2 我が国の芸術文化に対する理解を深め、愛着をもつとともに、我が国及び諸外国の芸術文化を尊重する態度を育成すること。